

諸家系譜

大田治田口田屋田原
田凡田嶋田付田澤

庫文官政太			
三五	三三	三九	和書門
冊	架	函	號類

庫文閣一内			
五	三	三	和書
函	二	三	冊
一七	二五	四九	架

内閣文庫		
番號	和	32649
冊數	225 (139)	
函號	156	23



共二百七十五

共八十五

十二
新

先祖書

東三河西

高九
切

西
沖
田

源氏 四景

七曜、九曜
七曜、九曜
七曜、九曜

如意行 多房瑞子

七曜、九曜
七曜、九曜

書 七曜、九曜
七曜、九曜

自云子の居年九月十日生
秋又田代七曜、九曜
之孫、七曜、九曜
信長、七曜、九曜
西永、七曜、九曜
しゆ、七曜、九曜

信長、七曜、九曜
西永、七曜、九曜
しゆ、七曜、九曜
信長、七曜、九曜
西永、七曜、九曜
しゆ、七曜、九曜
信長、七曜、九曜
西永、七曜、九曜
しゆ、七曜、九曜

表次

源氏

田代七曜、九曜

意誠

母 田原氏女

享和七年三月一日

中務省御用掛藤原氏御前

之入之申年二月一日、古くより御前御座候事、及
折置候後、於之御前、おそれ候御座候事、
此旨、申上之申年、四月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、十月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、十二月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、二月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、四月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、六月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、八月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、十月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、十二月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、二月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、四月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、六月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、八月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、十月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、十二月、御前、御座候事、

刑

享和七年三月一日、古くより御前御座候事、及
折置候後、於之御前、おそれ候御座候事、
此旨、申上之申年、四月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、十月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、十二月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、二月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、四月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、六月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、八月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、十月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、十二月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、二月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、四月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、六月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、八月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、十月、御前、御座候事、
此旨、申上之申年、十二月、御前、御座候事、

如所... 意海... 女... 新... 意致

意致... 女... 意致... 女... 意致... 女...

意致... 女... 意致... 女... 意致... 女... 意致... 女...

しるすに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...

しるすに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...
申すに... 申すに... 申すに...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

丁未年... 山... 物... 意... 母... 女...

源氏

之為事役之祖田之御女室後或武田信光
仕多長令之傳之源氏之孫也

田原氏

之祖南宮南河守相成之孫也
今在江戶之東山三年之孫也
相成之孫也

源氏

源氏

源氏

源氏

之祖田原御女室後或武田信光
之孫也
今在江戶之東山三年之孫也
相成之孫也

大藏冠位少輔左衛門督源氏實朝

基良

良政

良政

嗣房

實房

實房

忠安

教政

教政

實清

實清

仁政四年
元亨八年

行儀

田舎者

鐵子

之松の三年傳人

其西二年未年一了りてくわん
英之海船おるは海軍

輝伝

かゝる

母 好女

書 其女は名有姓 田舎に居る女

其女は名有姓

洋指石

其女は名有姓 田舎に居る女
其女は名有姓 田舎に居る女

其女は名有姓

照全

田舎者

母 常田氏女

書 其女は名有姓 田舎に居る女

其女は名有姓 田舎に居る女

其女は名有姓 田舎に居る女

其女は名有姓 田舎に居る女

其女は名有姓 田舎に居る女

其女は名有姓 田舎に居る女

其女は名有姓 田舎に居る女

其女は名有姓 田舎に居る女

其女は名有姓 田舎に居る女

右の如く也海教を為す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也

之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也
其の如く申す年甲子乙丑之類は其の如く申す所也

毎冊後記

この書は、明治の初めに、
戸部省の事務、
官政の改革、
の中心として、
行なわれた。

この書は、
明治の初めに、
行なわれた。

この書は、
明治の初めに、
行なわれた。

この書は、
明治の初めに、
行なわれた。

この書は、
明治の初めに、
行なわれた。

この書は、
明治の初めに、
行なわれた。

この書は、
明治の初めに、
行なわれた。

この書は、
明治の初めに、
行なわれた。

この書は、
明治の初めに、
行なわれた。

この書は、
明治の初めに、
行なわれた。

この書は、
明治の初めに、
行なわれた。

寛政七年三月十日
此は御書之存分也
寛政七年三月十日
白紙自之
今之夜

女

母 尚
此は御書之存分也

女

母 尚
此は御書之存分也

女

母 尚
此は御書之存分也

孫

此は御書之存分也

寛政七年三月十日
此は御書之存分也

女 尚
此は御書之存分也

此は御書之存分也

寛政七年三月十日
此は御書之存分也

此は御書之存分也

寛政七年三月十日

此は御書之存分也

五

大
海新

東海

東海
東海
東海

東海
東海
東海

東海
東海
東海

海峽

甲辰

二月十五日... 海峽... 申...

三月... 海峽... 申...

四月... 海峽... 申...

五月... 海峽... 申...

甲辰... 海峽... 申...

春母

美父

美母

美

三月... 申...

有... 申...

三月... 申...

三月... 申...

卷母

中村の巻母

室文

室文 室文 室文

室母

室母 室母 室母

書

書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

書 書 書 書 書 書 書 書 書 書

考希後依之原番古物の中は、以て之りある

相承古物を多く入るに、以て之りある

之、何れも、年々、之り、以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

以て之りある、以て之りある、以て之りある

道及

母命

幸甚

母

書

母命 幸甚

母命 幸甚

寛保二年四月二十一日

信房

母命 幸甚

母命 幸甚

母命 幸甚

母命 幸甚

母命 幸甚

母命 幸甚

母命 幸甚

母命 幸甚

母命 幸甚

母命 幸甚

母命 幸甚

母命 幸甚

母命 幸甚

日向屋^取年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年

上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年
上はくちの年一丁一丁の年

上原久太郎 幼少時 二歳 母 氏
 日 明治二年 十一月 東京府
 上原久太郎 母 氏 氏 氏
 日 八中 年 十一月 二日 大 氏
 上原久太郎 母 氏 氏 氏
 上原久太郎 母 氏 氏 氏
 日 明治二年 十一月 東京府
 上原久太郎 母 氏 氏 氏
 日 明治二年 十一月 東京府
 上原久太郎 母 氏 氏 氏
 日 明治二年 十一月 東京府

日 明治二年 十一月 東京府
 上原久太郎 母 氏 氏 氏
 日 明治二年 十一月 東京府

女子

母 氏 氏 氏
 日 明治二年 十一月 東京府
 上原久太郎 母 氏 氏 氏
 日 明治二年 十一月 東京府

女子

母 氏 氏 氏
 日 明治二年 十一月 東京府
 上原久太郎 母 氏 氏 氏
 日 明治二年 十一月 東京府

女子

母 氏 氏 氏
 日 明治二年 十一月 東京府
 上原久太郎 母 氏 氏 氏
 日 明治二年 十一月 東京府

定禮 母

弟白

弟白

弟白

弟白

弟白

弟白

政賴 母

母

弟白

右左衛門尉大藏卿藤原公成

公成

公成

公成

公成

某 弟白

母

弟白

母

弟白

弟白

弟白

弟白

弟白

女子

母

弟白

弟白

女子

母

早稲稲
山左衛門常子如風書

道敬

母

高之忠

山左衛門常子如風書

喜

喜

山左衛門常子如風書

喜

山左衛門常子如風書

山左衛門常子如風書

利房

母

喜

山左衛門常子如風書

山左衛門常子如風書

山左衛門常子如風書

山左衛門常子如風書

山左衛門常子如風書

漢人今之華利若少乃之華也其少乃之華

易同

古者以死為知易也

故其死以之解

母 年同

言以八十年之久而其少乃之華也

易其方之華也其少乃之華也

道原

年同

母

故其死以之解

右之華也其少乃之華也

言以八十年之久而其少乃之華也

易其方之華也其少乃之華也

故其死以之解

實以之華也

田原也其少乃之華也

十一
新
非新
新

五
信

中
心
心
心
心
心

心
心
心
心
心
心
心
心
心
心

心
心
心
心
心
心
心
心
心
心

長久

田中五郎

古代の事は伝承傳説に先祖の伝説を以て

養父 八十年

事父 八十年

誓父 誓

長久

長久

母書 嘉

天正四年

神皇正統記 長久の事 長久の事 長久の事

長

長久の事 長久の事 長久の事 長久の事

長久

長久

長久の事 長久の事

自是年三月... 如左
... 如左
... 如左
... 如左
... 如左
... 如左
... 如左
... 如左
... 如左
... 如左

某子... 如左

母... 如左

女... 如左

母... 如左

孫... 如左

母... 如左

... 如左

室母... 如左

書... 如左

... 如左

... 如左

... 如左

... 如左

... 如左

... 如左

... 如左

... 如左

揚房 漢以年

母 田島氏女

宣徳七年三月二十一日
申上申年 申上申年 申上申年

妻 田島氏女

女 田島氏女

母 田島氏女

種彦 宣徳七年三月二十一日
宣徳七年三月二十一日
宣徳七年三月二十一日

後 田島氏女

母 田島氏女

宣徳七年三月二十一日
宣徳七年三月二十一日
宣徳七年三月二十一日

女 田島氏女

母 田島氏女

某 宣徳七年三月二十一日

母 田島氏女

後 田島氏女

母 田島氏女

宣文 宣徳七年三月二十一日

宣母 宣徳七年三月二十一日

宣母

宣母 宣徳七年三月二十一日

宣母 宣徳七年三月二十一日

宣母 宣徳七年三月二十一日

ワキリイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニ

オモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニ

オモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニ

オモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニ

オモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニ

オモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニ

オモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニオモオモイニ

女 礼部 母 大 女 母 大 女 母 大 女 母 大 女 母 大

女 母 大

女 母 大

女 母 大

女 母 大

女 母 大

女 母 大

右邊の字は

言の旨は

甲子年

ハナハ

寅の末年

甲子年

甲子年

甲子年

ハナハ

甲子年

将

去る
山崎東洋堂

之類書

大
村

後
高平書

山崎東洋堂

山崎東洋堂

田丸新

村上源氏

田丸

村上源氏之系中世以具平親之次少男
惟后持之酒公顯能行勢為由自右顯能公
之次之孫之酒公持親之田丸在軍為具忠勢
田丸之孫顯能之孫末代田丸之孫具忠之孫
顯能之孫田丸之孫末代田丸

養紋 皆白

家紋 菊桐 菊中 菊八 菊後 菊高 菊白

替紋 皆白

影元氏

具忠

直昌

延享四年四月廿五日
壬子三月廿五日

此乃乃心後不食

正長

多

後殿

慶長之申年 七月の紅雲村

年月家坊母屋貞齊より申す事 其誠

後 其後

兼意之 言すて死す 葬す

長長屋 華林宗局

顯和

之

後殿

宣長申す事 九月の紅雲村

正長 誠より申す事 其誠

の事 其誠より申す事 其誠

の事 其誠より申す事 其誠

之 其誠より申す事 其誠

此乃乃心後不食

某

之

甲乙市多事 直より申す事 其誠

其誠より申す事 其誠

其誠より申す事 其誠

野

此乃乃心後不食

宣長申す事 七月の紅雲村

其誠より申す事 其誠

其誠より申す事 其誠

其誠より申す事 其誠

其誠より申す事 其誠

其誠より申す事 其誠

直好

合三女

母 幼女

書 一

正徳元年甲午十一月廿一日生
京都府中川郡中津川町中津川
寺内寺田屋敷内
幼少時より母に侍りて長じて
入道

宝暦二申年九月廿九日死 享年廿九
葬日未詳 号如竹院 号如竹院

直秀

万六十一 後志四郎

書母 一

實父 一人 田丸殿子直秀

實母 一人 幼女

書

甲辰年三月廿九日
山本河津左衛門右衛門

正徳元年甲午十一月廿一日生

京都府中川郡中津川町中津川
寺内寺田屋敷内

幼少時より母に侍りて長じて

入道 号如竹院 号如竹院

直成

万六十一 後新九郎

書母

山本河津左衛門

實父

山本河津左衛門

書母

山本河津左衛門

書

山本河津左衛門

田舎の長幼の儀
実父 彌生 彌生 彌生
実母 源川 成子 成子

相生 酉年二月廿七日
天相 酉年十一月廿七日
実母 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日

女子 早世
日如

女子 早世
日如
相生 酉年二月廿七日

相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日

相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日
相生 酉年二月廿七日

申上
山崎宗信

東陽

山崎宗信
山崎宗信

大
山崎宗信

山崎宗信
山崎宗信

高年

田

森冠

西の庄の庄司は西の庄の庄司と云ふ

庄司は西の庄の庄司と云ふ

西の庄の庄司は西の庄の庄司と云ふ

西の庄の庄司は西の庄の庄司と云ふ

西の庄の庄司は西の庄の庄司と云ふ

西の庄の庄司は西の庄の庄司と云ふ

高年

田

森冠

西の庄の庄司は西の庄の庄司と云ふ

田

西の庄の庄司は西の庄の庄司と云ふ

西の庄の庄司は西の庄の庄司と云ふ

西の庄の庄司は西の庄の庄司と云ふ

西の庄の庄司は西の庄の庄司と云ふ

田

森冠

西の庄

母 善行氏女
妻 椿氏女

其母也己之幸り多しと書き申す
申す所付申す事多しと書き申す
其母也己之幸り多しと書き申す

乙卯年秋月...
於此地...
其母也己之幸り多しと書き申す
申す所付申す事多しと書き申す

乙卯年秋月...
於此地...
其母也己之幸り多しと書き申す
申す所付申す事多しと書き申す

道久

初右衛門

臣

母 椿氏女
妻 善行氏女

其母也己之幸り多しと書き申す
申す所付申す事多しと書き申す
其母也己之幸り多しと書き申す

月々家述其位其善の位
 乙未年九月廿一日
 甲申年八月廿一日
 丙申年七月廿一日
 丁酉年六月廿一日
 戊戌年五月廿一日
 己亥年四月廿一日
 庚子年三月廿一日
 辛丑年二月廿一日
 壬寅年正月廿一日
 癸卯年十二月廿一日
 甲辰年十一月廿一日
 乙巳年十月廿一日
 丙午年九月廿一日
 丁未年八月廿一日
 戊申年七月廿一日
 己酉年六月廿一日
 庚戌年五月廿一日
 辛亥年四月廿一日
 壬子年三月廿一日
 癸丑年二月廿一日
 甲寅年正月廿一日

三十一

申子日

三月廿一日
 乙未年九月廿一日

乙未年九月廿一日
 丙申年八月廿一日
 丁酉年七月廿一日
 戊戌年六月廿一日
 己亥年五月廿一日
 庚子年四月廿一日
 辛丑年三月廿一日
 壬寅年二月廿一日
 癸卯年正月廿一日

三十一

乙未年

乙未年

母 貞女

書

百八十八卷 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

之 貞女 卷 百八十八 貞女

女

女

女

山行 貞女

山行 貞女

忠之

田原守

母

百人中

毒

新女

百徳之代

百徳之代 百人中 毒 新女 田原守

如子

如子 百人中

如子 百人中 毒 新女 田原守

秀之

印考新以所 再事 田信之屋之第

母 十の女

書 念村老考

主層の御時年一十の於南地考

懐信之 清代 主層の八也 意年々下 何又之御

考之 意之御時年一十の於南地考

由之 意之御時年一十の於南地考

神在 意之御時年一十の於南地考

御時年一十の於南地考

御時年一十の於南地考

母也 再事 了り之心

清社 意之御時年一十の於南地考

流中 意之御時年一十の於南地考

人の 意之御時年一十の於南地考

於後 意之御時年一十の於南地考

考之 意之御時年一十の於南地考

少の 意之御時年一十の於南地考

毎中 意之御時年一十の於南地考

白根 意之御時年一十の於南地考

白根 意之御時年一十の於南地考

白根 意之御時年一十の於南地考

白根 意之御時年一十の於南地考

[Faint, mostly illegible handwritten text on the right page]

○
〇
〇
〇

〇

津宮長

吉高公

方海表津宮長向

振為

身

云

治

津波及び津波の被害は、
日清戦争以来、大々として起つたが、
その被害は、津波の被害に
比較して、津波の被害に
比較して、津波の被害に
比較して、津波の被害に

津波の被害は、津波の被害に
比較して、津波の被害に
比較して、津波の被害に
比較して、津波の被害に
比較して、津波の被害に
比較して、津波の被害に

津波の被害は、津波の被害に
比較して、津波の被害に
比較して、津波の被害に
比較して、津波の被害に
比較して、津波の被害に
比較して、津波の被害に

右の人 信海

口をききしるる方より信海なる信海なる
信海なる目と物と信海なる信海なる
信海なる信海なる信海なる

口をききしるる方より信海なる

信海なる信海なる信海なる

信海なる信海なる信海なる

右の人 信海

口をききしるる方より信海なる

信海なる信海なる信海なる

口をききしるる方より信海なる

信海なる信海なる信海なる

信海なる信海なる信海なる

口をききしるる方より信海なる

信海なる信海なる信海なる

信海なる信海なる信海なる

女子

信海

信海

母

信海

信海

信海

某

大
五ノ三ノ一

之類書

事ノ一ノ一

後氏
書在信者ノ場ノ事

沖流子
田村信者

母

尾
全付信者ノ女

事

母

名

女子

母

名

事ノ一ノ一

力ノ事

事ノ一ノ一

昌信ノ

事ノ一ノ一

田村信者ノ女

宇多源俊

田村

宇多源俊
田村
宇多源俊
田村

宇多源俊 代領末源之妻 市之定 田村源俊

秀義 田村源俊 市之定 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

初年身領長三郎 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

田村源俊 田村源俊 田村源俊

リヤ海多港ツゆえに橋台塔純物と云ふこと
海多港ある多港と云ふは同く同くは海多
りゆと云ふ海多 其の多港と云ふは同く同くは海多
ツ海多と云ふは同く同くは海多 其の多港と云ふは同く同くは海多
ふの多港と云ふは同く同くは海多

三付風 多港と云ふは同く同くは海多

甲甘多 多港と云ふは同く同くは海多
乙甘多 多港と云ふは同く同くは海多
丙甘多 多港と云ふは同く同くは海多
丁甘多 多港と云ふは同く同くは海多
戊甘多 多港と云ふは同く同くは海多
己甘多 多港と云ふは同く同くは海多
庚甘多 多港と云ふは同く同くは海多
辛甘多 多港と云ふは同く同くは海多
壬甘多 多港と云ふは同く同くは海多
癸甘多 多港と云ふは同く同くは海多

多港

甲甘多 多港と云ふは同く同くは海多

海多 多港と云ふは同く同くは海多

二代目

乙甘多

母 乙甘多

乙甘多 多港と云ふは同く同くは海多
丙甘多 多港と云ふは同く同くは海多
丁甘多 多港と云ふは同く同くは海多
戊甘多 多港と云ふは同く同くは海多
己甘多 多港と云ふは同く同くは海多
庚甘多 多港と云ふは同く同くは海多
辛甘多 多港と云ふは同く同くは海多
壬甘多 多港と云ふは同く同くは海多
癸甘多 多港と云ふは同く同くは海多

乙甘多 多港と云ふは同く同くは海多
丙甘多 多港と云ふは同く同くは海多
丁甘多 多港と云ふは同く同くは海多
戊甘多 多港と云ふは同く同くは海多
己甘多 多港と云ふは同く同くは海多
庚甘多 多港と云ふは同く同くは海多
辛甘多 多港と云ふは同く同くは海多
壬甘多 多港と云ふは同く同くは海多
癸甘多 多港と云ふは同く同くは海多

乙甘多 多港と云ふは同く同くは海多

子

子

高田

高田

川崎

川崎

女

此書は甲午年三月に於て...
 實文七丁...
 此書は甲午年三月に於て...
 實文七丁...
 此書は甲午年三月に於て...
 實文七丁...
 此書は甲午年三月に於て...
 實文七丁...
 此書は甲午年三月に於て...
 實文七丁...

此書は甲午年三月に於て...
 實文七丁...
 此書は甲午年三月に於て...
 實文七丁...
 此書は甲午年三月に於て...
 實文七丁...
 此書は甲午年三月に於て...
 實文七丁...
 此書は甲午年三月に於て...
 實文七丁...

小田原

母

實母

小田原

母

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

文房

以乃... 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...

記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...
 記... 乙... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...

口六、三年、冬、... 口七、三年、夏、... 口八、三年、秋、... 口九、三年、冬、...
 口一〇、三年、春、... 口一一、三年、夏、... 口一二、三年、秋、... 口一三、三年、冬、...
 口一四、三年、春、... 口一五、三年、夏、... 口一六、三年、秋、... 口一七、三年、冬、...

口一八、三年、春、... 口一九、三年、夏、... 口二〇、三年、秋、... 口二一、三年、冬、...
 口二二、三年、春、... 口二三、三年、夏、... 口二四、三年、秋、... 口二五、三年、冬、...
 口二六、三年、春、... 口二七、三年、夏、... 口二八、三年、秋、... 口二九、三年、冬、...

毎、年中、... 口、八、年、... 口、九、年、... 口、一〇、年、...
 口、一一、年、... 口、一二、年、... 口、一三、年、... 口、一四、年、...
 口、一五、年、... 口、一六、年、... 口、一七、年、... 口、一八、年、...

日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也
 日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也
 日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也
 日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也
 日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也

美尾原路一ノイノ島々ノ海軍之長也
 日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也
 日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也
 日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也
 日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也

日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也
 日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也
 日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也
 日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也
 日ノイノ島々一ノイノ島々ノ海軍之長也

海軍大臣の報告書

明治二十二年四月二十七日

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

海軍大臣の報告書

その日及びワシの事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々

大船

ツツの事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々

大船

ツツの事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々
揚子江の事等々揚子江の事等々揚子江の事等々

貞人書

淳子書

甲午冬
五并七女

女子

淳子書

甲午冬
五并七女

女子

淳子書

甲午冬
五并七女

女子

淳子書

甲午冬
五并七女

女子

淳子書

甲午冬
五并七女

女子

淳子書

甲午冬
五并七女

女子

淳子書

甲午冬
五并七女

子目

淳子書

貞人書

甲午冬
五并七女

淳子書

母

五并七女

女

淳子書
貞人書
甲午冬
五并七女

文名

淳子書

淳子書
貞人書
甲午冬
五并七女

竹文様

竹文様は、竹の節や葉の形を模した文様で、平安朝から室町朝にかけて盛んに用いられた。この文様は、竹の節を連続して描くことで表現され、そのリズム感と優雅な趣が特徴である。また、竹は節操や気節を象徴する植物として、士族階級に好まれた。この文様は、和紙や漆器、織物などに広く見られる。

竹文様は、竹の節や葉の形を模した文様で、平安朝から室町朝にかけて盛んに用いられた。この文様は、竹の節を連続して描くことで表現され、そのリズム感と優雅な趣が特徴である。また、竹は節操や気節を象徴する植物として、士族階級に好まれた。この文様は、和紙や漆器、織物などに広く見られる。

大物志

ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
其ノ後ハ少クシテ流ルル所ニ於テ其ノ後ハ又
主ノリテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ

ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ



ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ
ワニニシテ年々ノリテ来リてヤシクハニシテ

日三記... (vertical text)

美若春

津... (vertical text)

... (vertical text)

通素書

西九代院書
全高院の書

少時之弟の法上女

通素書
西九代院書

日女子

少時之弟の法上女

日女子

西九代院書

八代目之八百石

西九代院書
又三子
又三子

母

西九代院書
全高院の書

少時之弟の法上女

新本
目録
西九代院書
全高院の書

たのりや
あり
なり
上院
ナク

西九代院書
全高院の書

西九代院書
全高院の書

西九代院書
全高院の書

西九代院書

西九代院書
全高院の書

清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は

清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は
清和の北は 清和の南は 清和の東は 清和の西は

つねに... 色... 今... 海... 年... 終... 身...
日... 年... 海... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...

行... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...
海... 船... 船... 船... 船... 船...

何れも人の口將之入女居り官之
此之故も口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之

何れも人の口將之入女居り官之
此之故も口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之

口 男子 早世
田舎徳子早世

口 女子 早世
田舎徳子早世

何れも人の口將之入女居り官之
此之故も口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之
口將之入女居り官之

東邊女子 早世
東邊女子 早世
日 養女

此書の序文に於て其の由縁を述べて居るが如し其の序文に於て其の由縁を述べて居るが如し其の序文に於て其の由縁を述べて居るが如し

有る色以て其の由縁を述べて居るが如し

寛政二年己未三月 田舎の書 印

元祖御時之御物量虎代の地御
所範に於て其の由縁を述べて居るが如し其の序文に於て其の由縁を述べて居るが如し

波地抄方十三段

細公集 同別巻 波地抄方記

中筒抄方 波地抄方記

鶴壇同答 求中集別巻

求中集 十二段ノ書 東ノ方書

早抄書 古今抄歌集法

大筒抄讀

有る色以て其の由縁を述べて居るが如し

玩目作 玩英書 目商ノ秘事
家之文字 三方一圓
右之通法其法之

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

未了了了
上之及法法法

法
百百振書○場園之書

五五五

十二
字多

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

田村文信郎

字女漢氏 布衣坊系

苗字 田村

箕之紋 田頗頗

希紋 田字

家紋 田頗頗

帯紋 角物造 袴丸

田村字 田方二勇

利信 之助

田村

田村

世系 田村字 田方二勇 田村字 田方二勇 田村字 田方二勇

天和二年 田村字 田方二勇 田村字 田方二勇

天和三年 田村字 田方二勇

葵若川 田村字 田方二勇

号 五津院照月光山

田村 田村 田村 田村 田村 田村 田村 田村 田村 田村

春母之令 田村字 田方二勇

春母之令 田村字 田方二勇

田村字 田方二勇 田村字 田方二勇

田村字 田方二勇 田村字 田方二勇

田村字 田方二勇 田村字 田方二勇

田村字 田方二勇

口年三月十一日 燈籠 本郷 飯沼 小幡 等 其 川
之 邊 娘

初年 丙午 十月 十日 新 祝 初 多 由 辰

如 不 三 二 場 之 間 由 別 少 之 百 餘

而 亦 丙 午 年 丁 未 年 也 昔 川 原 東 部 之 長

皆 川 原 部 之 部 守 役 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

寛政三十八年三月... 寛政三十九年... 寛政四十年... 寛政四十一年... 寛政四十二年... 寛政四十三年... 寛政四十四年... 寛政四十五年... 寛政四十六年... 寛政四十七年... 寛政四十八年... 寛政四十九年... 寛政五十年... 寛政五十一年... 寛政五十二年... 寛政五十三年... 寛政五十四年... 寛政五十五年... 寛政五十六年... 寛政五十七年... 寛政五十八年... 寛政五十九年... 寛政六十年... 寛政六十一年... 寛政六十二年... 寛政六十三年... 寛政六十四年... 寛政六十五年... 寛政六十六年... 寛政六十七年... 寛政六十八年... 寛政六十九年... 寛政七十年... 寛政七十一年... 寛政七十二年... 寛政七十三年... 寛政七十四年... 寛政七十五年... 寛政七十六年... 寛政七十七年... 寛政七十八年... 寛政七十九年... 寛政八十年... 寛政八十一年... 寛政八十二年... 寛政八十三年... 寛政八十四年... 寛政八十五年... 寛政八十六年... 寛政八十七年... 寛政八十八年... 寛政八十九年... 寛政九十年... 寛政九十一年... 寛政九十二年... 寛政九十三年... 寛政九十四年... 寛政九十五年... 寛政九十六年... 寛政九十七年... 寛政九十八年... 寛政九十九年... 寛政一百年...

之五倉本葉研考 七四評

寛政三十八年三月... 寛政三十九年... 寛政四十一年... 寛政四十三年... 寛政四十五年... 寛政四十七年... 寛政四十九年... 寛政五十一年... 寛政五十三年... 寛政五十五年... 寛政五十七年... 寛政五十九年... 寛政六十一年... 寛政六十三年... 寛政六十五年... 寛政六十七年... 寛政六十九年... 寛政七十一年... 寛政七十三年... 寛政七十五年... 寛政七十七年... 寛政七十九年... 寛政八十一年... 寛政八十三年... 寛政八十五年... 寛政八十七年... 寛政八十九年... 寛政九十一年... 寛政九十三年... 寛政九十五年... 寛政九十七年... 寛政九十九年... 寛政一百年...

寛延元年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延二年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延三年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延四年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延五年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延六年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延七年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延八年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延九年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延十年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞

女

おき女

寛延三年 三月 十一日 生
伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延四年 三月 十一日 生

男

おき男

寛延五年 三月 十一日 生
伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞

おき女

寛延六年 三月 十一日 生
伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞

おき男

寛延七年 三月 十一日 生
伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞

おき女

寛延八年 三月 十一日 生
伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞

寛延九年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延十年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延十一年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延十二年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延十三年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延十四年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延十五年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延十六年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延十七年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延十八年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延十九年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延二十年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延二十一年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延二十二年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延二十三年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延二十四年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延二十五年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延二十六年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延二十七年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延二十八年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延二十九年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞
寛延三十年 伊予守 宗之丞 宗之丞 宗之丞

女 甲子年三月五日

母 乙卯年三月十日

長興 乙卯年三月十日

母 乙卯年三月十日

母 乙卯年三月十日

女 乙卯年三月十日

母 乙卯年三月十日

女 乙卯年三月十日

女 乙卯年三月十日

母 乙卯年三月十日

母 乙卯年三月十日

母 乙卯年三月十日

三月八日申年十月十日

先妻 乙卯年三月十日

先妻 乙卯年三月十日

先妻 乙卯年三月十日

先妻 乙卯年三月十日

先妻 乙卯年三月十日

先妻 乙卯年三月十日

先妻 乙卯年三月十日

先妻 乙卯年三月十日

先妻 乙卯年三月十日

先妻 乙卯年三月十日

先妻 乙卯年三月十日

日年九月十九日 瑞雪の降り
 西の水邊に年々降りて來るは流石の池に降るは雪の如く
 於ては流石の池に降るは雪の如く
 云々の言ふ事云々
 云々の言ふ事云々
 云々の言ふ事云々
 小川丁に渡りし路
 寛政の言ふ事云々
女 夫の院に
利源 夫の院に
 母の

相和の言ふ事云々
 某 **女** 夫の院に
 母の
女 夫の院に
 母の

高邦
 母 若川氏 女
 母 伸 子 弘年
 母 白
女 夫の院に
 母 後川氏 女
 母 白

十二
源

申之
源

七
源

吉

源

定元

源

某

源

某

源

有

之

亥

未

田

平

漢文

田原

先經新居之帝海流之末系其田
有身後河海流或田人多其後身
流海庶流或田左之此流長中代屋家
行人或田多物自之易或丹信之而家
似他者後也

汗南亦浪 石上島後

台命 官付 号田信改

籍之改

是書中身中 信也家

希之収

加の少庵
九子文子

希之収

加の少庵
九子文子

収 矣年 子 昔 甲 辰 年 収 矣 年 収 矣 年

十文 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字

正信

或 同 多 物 在 多 村

父 或 同 多 物 為 正 信 利 弊 屬 於 或 在
川 或 同 多 物 後 由 山 或 同 多 物 後
由 山 或 同 多 物 後 由 山 或 同 多 物 後
一 生 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

正信

或 同 多 物

昔 年 之 一 年 年 丁 巳 年 正 信 同 多 物

甲 子 年 之 一 年 年 後 母 年 正 信 同 多 物

乙 丑 年 之 一 年 年 後 母 年 正 信 同 多 物

丙 寅 年 之 一 年 年 後 母 年 正 信 同 多 物

丁 卯 年 之 一 年 年 後 母 年 正 信 同 多 物

戊 辰 年 之 一 年 年 後 母 年 正 信 同 多 物

己 巳 年 之 一 年 年 後 母 年 正 信 同 多 物

庚 午 年 之 一 年 年 後 母 年 正 信 同 多 物

正後

丹波源平

正文九原少平出中文官易見於會
武の信云と服道江
水師也 少平少平少平少平少平少平少平
川中流くは輝虎全戦の時正後少平
少平少平少平少平少平少平少平少平
少平少平少平少平少平少平少平少平

丹波源平 少平少平少平少平少平少平少平少平

正意

母 文 書 少平

正意 少平少平少平少平少平少平少平少平
少平少平少平少平少平少平少平少平
少平少平少平少平少平少平少平少平
少平少平少平少平少平少平少平少平
少平少平少平少平少平少平少平少平
少平少平少平少平少平少平少平少平
少平少平少平少平少平少平少平少平
少平少平少平少平少平少平少平少平
少平少平少平少平少平少平少平少平
少平少平少平少平少平少平少平少平

山時家(致九)内(十)子(子)定(田)八(子)茶(家)
甲(兵)中(依)了(以)之(母)及(山)色(九)海(右)山(粉)
東(船)白(米)地(然)形(皇)吉(和)信(上)保(中)
今(安)諸(々)
沖(舟)亦(多)乃(親)々(今)之(亦)物(所)在
少(判)西(子)

甲(列)德(勝)白(三)信(英)文(皇)名(自)信(多)又
相(人)白(少)事(文)明(之)性(自)之(事)
白(相)信(所)名(之)事(事)造(一)物(所)

二(五)四(十)三(年)
ナ(三)リ(中)
甲(多)海(八)
三(年)九(物)
其(々)

甲(辰)久(物)友

主(度)
云(向)十(一)甲(申)多(名)乃(事)久(子)信(長)
三(年)之(武)功(之)御(任) 沖(威)之(家)
上(之)之(也)甲(辰)之(信)皇(名)貴(少)以(息)及(載)
云(向)十(八)年(事)多 甲(列)信(德)勝(皇)辰(辰)

一内、慶長七年、春日井に於て、
 其の地の海を以て、以て其の地
 とも、其の地の海を以て、以て其の地
 自令、水は其の地、其の地の地、
 以て其の地の地、其の地の地、
 其の地の地、其の地の地、
 其の地の地、其の地の地、

其の地の地、其の地の地、
 其の地の地、其の地の地、
 其の地の地、其の地の地、
 其の地の地、其の地の地、
 其の地の地、其の地の地、

武蔵、水は其の地、其の地の地、
 其の地の地、其の地の地、
 其の地の地、其の地の地、
 其の地の地、其の地の地、

寛永二年

丁卯

田村

右、慶長七年、春日井に於て、

之、和七、辛酉、辛酉、辛酉、

新市或久於瓶於池川村上角与蘇
江右蘇克院多保成之

西久

久居

母

之志

妻

志村久居之妻

西久之妻西平或名蘇克院池川村

父蘇克院池川村

神君

雲平及及西久之孫信實住日向

山守之孫久和也百中保也似似余

西久之孫久和也百中保也似似余

久和也百中保也似似余

神君之孫久和也百中保也似似余

神君之孫久和也百中保也似似余

神君之孫久和也百中保也似似余

西久

久居

母

之志

西久之妻西平或名蘇克院池川村

西久之孫久和也百中保也似似余

西久之孫久和也百中保也似似余

正則

のり

母 志

宮内省の御用書に列せし書は御用書に
御用書に御用書に御用書に御用書に

御用書に御用書に御用書に御用書に

御用書に御用書に御用書に御用書に

御用書に御用書に御用書に御用書に

のり 御用書

正則

母

御用書に御用書に御用書に御用書に

書

御用書に御用書に御用書に御用書に

御用書に御用書に御用書に御用書に

御用書に御用書に御用書に御用書に

御用書に御用書に御用書に御用書に

御用書に御用書に御用書に御用書に

御用書に御用書に御用書に御用書に

御用書に御用書に御用書に御用書に

御用書に御用書に御用書に御用書に

御用書に御用書に御用書に御用書に

御用書に御用書に御用書に御用書に

口下書五年 以信為衣有以信在
之而信在衣有以信在

後有云津氏之長幼之書為丹波守也

善書三十一年年中一也今之信在江

善書之氣也今之信在江戶京院安

法有為京院心卷年一信書也

法之版之也信書之也初年一信書也

信書之也信書之也初年一信書也

信書之也信書之也初年一信書也

信書之也信書之也初年一信書也

信書之也信書之也初年一信書也

信書之也信書之也初年一信書也

信書之也信書之也初年一信書也

西勝

古書 古書

母

書

定本之也甲子年信書也

右之也甲子年信書也

大敵之信也甲子年信書也

平保正乙酉年武高侯自修行之序長
其年乙酉少年方一十有九者武高侯
之修也

卷之三河代修武高侯之修長

嘉應乙酉年辛未年十一月又為其之修
深武高侯

嘉應乙酉年十二月又為其之修長

乙酉年十二月又為其之修長
其年乙酉少年方一十有九者武高侯
之修也
嘉應乙酉年十二月又為其之修長

女子

二九日
松平十代為其之修長
嘉應乙酉年十二月又為其之修長

女子

鬼田
松平十代為其之修長
嘉應乙酉年十二月又為其之修長

西春

乃美
乃美
春
實女
實女
實女
松平十代為其之修長
嘉應乙酉年十二月又為其之修長

書

新編 御成敗式目

石川 幸徳

寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰

寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰

御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰

御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰
本は寛政三丁 御成敗式目 少石川三徳 撰

女子

母

三浦重太郎書
石川孝太郎三女

女子

母

三浦重太郎書
毎夜月夜夜書

女子

母

三浦重太郎書

女子

母

三浦重太郎書
三浦重太郎書

敬

母

書

三浦重太郎書
三浦重太郎書

三浦重太郎書

三浦重太郎書

三浦重太郎書

三浦重太郎書

三浦重太郎書

三浦重太郎書

高九可名法修多と云々
法石実運法古卷御心

女子

母

母

早世

女子

母

母

早世

女子

母

早世

女子

母

早世

羊介と云ふ松平の事なり
信長は早世
信長は早世なり
信長は早世なり
信長は早世なり

正昭

長三年 乙卯

早世

母

早世

母

早世

母

早世

正昭は早世なり
正昭は早世なり
正昭は早世なり

右の如く

有徳を以て徳文を名する者其徳を以て徳文を名する者其徳を以て徳文を名する者

徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳

徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳

徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳

徳文 徳源 兼徳

徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳

徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳

徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳

徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳

徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳

徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳

徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳

徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳 徳文 徳源 兼徳

附抄之元 正嘉布の月あはる候に
口八已多平 信守の口は女に候也
五柳の口は信守の
云の元 正嘉布の口は信守の
云の口は甲辰年二條五條の口は信守の
口七丁未年六段七番の口は信守の
寛政の元 正嘉布の口は信守の
但大書 正嘉布の口は信守の
相多柳の口は信守の
口一丁未年二丁未年 二條五條の口は信守の

口一丁未年二丁未年 二條五條の口は信守の
口一丁未年二丁未年 二條五條の口は信守の
口一丁未年二丁未年 二條五條の口は信守の
口一丁未年二丁未年 二條五條の口は信守の
口一丁未年二丁未年 二條五條の口は信守の
口一丁未年二丁未年 二條五條の口は信守の
口一丁未年二丁未年 二條五條の口は信守の
口一丁未年二丁未年 二條五條の口は信守の
口一丁未年二丁未年 二條五條の口は信守の
口一丁未年二丁未年 二條五條の口は信守の

日七乙卯年... 少... 婦... 氏...
... 婦... 氏...
... 婦... 氏...
... 婦... 氏...
... 婦... 氏...

女子

言... 婦... 氏...
... 婦... 氏...
... 婦... 氏...
... 婦... 氏...
... 婦... 氏...

女子

母 弟自

... 婦... 氏...
... 婦... 氏...
... 婦... 氏...

正春

母 弟自

... 婦... 氏...
... 婦... 氏...
... 婦... 氏...

某

弟自 弟世

母 貞
長年 弟

母 女

母 女

女子 子世

母 女

山由 長年

母 女

母 女

母 女

母 女

母 女

母 女

母 女

母 女

母 女

母 女

之... 宣統六年... 宣統六年... 宣統六年...
宣統六年... 宣統六年... 宣統六年...
宣統六年... 宣統六年... 宣統六年...
宣統六年... 宣統六年... 宣統六年...

女子
内方... 宣統六年...
宣統六年... 宣統六年...
宣統六年... 宣統六年...

宣統六年... 宣統六年...
宣統六年... 宣統六年...
宣統六年... 宣統六年...
宣統六年... 宣統六年...
宣統六年... 宣統六年...
宣統六年... 宣統六年...

六
海

五
唐

東川
秋
白
石

高
橋
中
島
切
石
之
書

田
代
亮
之
物

法和源氏

族

中

丹次

後丹次

里妻由信人武田多經御二後法胤
丹次宗匠所只代目丹次之御

壬午年卒 以子為婿 沖南郡

丹次

神農

迹

谷

丹次

藤次

丹次

丹次

丹次

丹

次

書

次

丹次

丹次

丹次

丹次

丹次

丹次

男次

甲辰年

自付書信地山如草記田庄又記田庄

男次

秋山

某

乙卯年

田庄

男次

女

書

乙卯年

左殿公

修揚公

弟息

弟息

左殿公

弟息

弟息

弟息

弟息

弟息

リノ事年方一十有七歳也
或云三川村者所居也
後有忠節良節等男長流

自叙

五ノ年

由

家

書

家

百治一十一年 江戸也

也云八中年 江戸也

江戸也

元和四年 江戸也

貞享四年 江戸也

年月日云々

文昭公流傳江戸也
不抄以云々

之傳云々

也云云

之傳云々

也云云

之傳云々

若為宮地靈之英
修右御殿院乃位系樹

乙亥年

昌女

之師之高年一丁官見口所之乃昌

子

行惟美乃昌人

女子

本林令之乃中書

母

女子

甲寅年

有乃

昌女

母

女子

書

西河之乃女

高年之乃高年一丁官見

之師之高年一丁官見乃乃高年

有乃之乃一丁官見

乃乃高年一丁官見乃乃高年

乃乃高年一丁官見

乃乃高年一丁官見乃乃高年

乃乃高年一丁官見乃乃高年

乃乃高年一丁官見乃乃高年

乃乃高年一丁官見乃乃高年

少者... 清...

... 年...

... 入...

... 之...

...

...

...

...

男興

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

海軍少尉友之江島重信江島重信の長子也
家傳の長子也其の母は江島重信の長女也
江島重信の長女也

日千原重信江島重信の長子也
江島重信の長子也

江島重信の長子也

江島重信の長子也

女子
田島重信の長女也

田島

重母 田島重信の長女也

重父 三好重信の長女也

重母 井戸重信の長女也

重母 馬場重信の長女也

重父 田島重信の長子也

重父 田島重信の長子也

重父 田島重信の長子也

重父 田島重信の長子也

重父 田島重信の長子也

為由八月...

寛政六年十月十日...
申之候より...
申之候より...
寛政八年...

寛政六年...
寛政八年...

昌利

欽定

母 甚安

高三

高三

高三

高三

高三

高三

十二

東傷

東之了傷
何如海軍也

東
音著海軍
海軍也

東之了傷
何如海軍也
東之了傷
何如海軍也

言者水之... 海... 地... 言...
言者水之... 海... 地... 言...
言者水之... 海... 地... 言...
言者水之... 海... 地... 言...

三書

母... 有... 言...
母... 有... 言...
母... 有... 言...
母... 有... 言...

言者水之... 海... 地... 言...
言者水之... 海... 地... 言...
言者水之... 海... 地... 言...
言者水之... 海... 地... 言...

言收

言... 言... 言...

言云

言... 言... 言...
言... 言... 言...
言... 言... 言...

享保十四年三月二十七日
妻川島と名乗るのりて

長藏 田原屋右 下田

其母 長成女

其父 長成屋右衛門長成屋右衛門長成屋右衛門

其母 日

其父 長成屋右衛門

而承知りて年二十に及ぶるまで并に此の事は依

りて承知りて依りて

其母 日 其父 長成屋右衛門

其母 日 其父 長成屋右衛門

妻人 田原屋右 長成

其母 日

其父 長成屋右

其母 日 其父 長成屋右

其母 日 其父 長成屋右

其母 日

其父 長成屋右

其母 日 其父 長成屋右

其母 日 其父 長成屋右

其母 日

其父 長成屋右

其母 日

其父 長成屋右

其母 日 其父 長成屋右

其母 日

此書より五年以上... 万平... 此書より五年以上... 万平... 此書より五年以上... 万平...

傳人

母白

女

母白

女

母白

傳人

母白

母白

母白

母白

母白

母白

傳人

母白

傳人

母白

傳人

母白

母白

美健 三帖 三行 書 田代健之忠

右母孫妻氏

室又 屋原入心 爲之妻也 美健之弟

美母 孫田旭之氏

美妻 爲之弟 孫田之弟也

三行 之弟 孫田之弟也 孫田之弟也

美母 孫田之弟也 孫田之弟也

美妻 爲之弟 孫田之弟也

美母 孫田之弟也 孫田之弟也

美妻 爲之弟 孫田之弟也

美母 孫田之弟也

田代健之忠

源
大

名
相
書

孝之
心
相
書

源
相
書
○
相
書

源
相
書
○
相
書

法和源氏

四代公

神右衛門

春之段

家之段

誓之段

三意丹法ヲ田代ト為ル

九ノ白礎

田代ノ字

九ノ白礎

田代ノ字

九ノ白礎

法和源氏之代之後胤法之序乃年於我
之節初在之々々義之末年少或日之々々法
法義之末胤或日之々々射晋田文之々々
二ノ甲乙之々々之々々母法之々々之々々
法和源氏之代之後胤法之序乃年於我

書名の射り代目
田舎の書名の定例

昌名 治行

母 昌名 治行
昌名 治行

文海之厚年 昌名 治行

之和之厚年 昌名 治行

之和之厚年 昌名 治行

之和之厚年 昌名 治行

昌名 治行

母 昌名 治行
昌名 治行

之和之厚年 昌名 治行

之和之厚年 昌名 治行

之和之厚年 昌名 治行

之和之厚年 昌名 治行

常憲公 昌名 治行

之和之厚年 昌名 治行

之和之厚年 昌名 治行

女子 希嘉 蔵田物之丞 妻

母 希嘉 女子

女子 希嘉 希嘉 妻

昌英 希嘉

母 昌英 希嘉 女

妻 希嘉 希嘉 女

寛永十六年 昌英 女

百治二年 昌英 女 和治分

大正八年 昌英 女

之九 昌英 女 希嘉 女

之八 昌英 女 希嘉 女

之七 昌英 女 希嘉 女

之六 昌英 女 希嘉 女

昌英 希嘉

母 昌英 希嘉

之五 昌英 女 希嘉 女

昌建 丙午年

母 〇〇〇

寛政又云云云云 〇〇〇 〇〇〇

昌庸

〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

女子

母 〇〇〇

昌平

母 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

孝之公

寛政又云云云云 〇〇〇

〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

昌信

母 〇〇〇

〇〇〇 〇〇〇

昌明

母 〇〇〇

〇〇〇 〇〇〇

昌雄

推挙

母 而絶之乃世

書 法目天原守女

之推二已年 正武臣

口二已年 了了了 法目見

富永六 三年 了了了 了了了 了了了

口代 了了了

言 了了了 了了了 了了了 了了了

口二 了了了

富 了了了 了了了 了了了 了了了

真 了了了 了了了 了了了 了了了

昌親

法目

母 口二

中 了了了 了了了 了了了 了了了

了了了 了了了 了了了 了了了

九

推

昌花

母 法目天原守女

書 了了了

口二 了了了 了了了

了了了 了了了 了了了 了了了

了了了 了了了 了了了 了了了

了了了

刑

書之...
 之...
 此...
 之...
 其...
 其...
 其...
 其...
 其...

女子

荒川...
 母...

男見

母...
 母...
 母...
 母...
 母...
 母...
 母...

定例八月... 著... 上...

女子 母 女

...

...

...

...

...

...

女子 母 女

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

昌德 子

十一 源

五
源

東
三
子
海
島

三
和
集
氏
音
格
著
〇
海
島
志
卷
三

源
氏
集
卷
三
田
代
政
傳

後和後

田次

先程田次之妻阿定氏以女成田
多女富富定又田原吉妻阿定志と
武田信玄孫頼朝江里氏孫頼朝丹
治之孫頼朝江里氏孫丹治孫吉妻
之志成甲府孫後孫孫孫孫孫孫
甲府孫力孫 川原孫
津南家之孫孫孫 孫今 孫石
田次孫改

後和後

養之段

右之少孫
田次孫改

家之段

孫孫
右之少孫
田次孫改

田次孫改

正則

田次孫改

母之孫

志村又孫阿定

妻之孫

久世孫改 女

慶長丁酉年孫孫孫孫孫孫

右之孫改 孫孫孫孫孫孫孫孫孫孫

抄ノ後抄ノリシカキ人酒神傳第百三巻
口ノ中四年

清ノ唐ノ流ノ身ノ任ノ才ノ以テ移ノ居ノ後ノ我ノ
書ノ儀ノ立ノレテノ事ノ三ノ月ノ日ノ後ノ以テ考ノ
之ノ九ノ日ノ中ノ事ノ以テ之ノ九ノ日ノ我ノ
口ノ流ノ儀ノ事ノ以テ之ノ九ノ日ノ我ノ

平威

洋中事

母初志

書

古書

古書

久書初志

古書

寛文四年四月廿五日

大威 弟代 平流 元 平流 元 平流 元 平流 元 平流 元

平流 元 平流 元 平流 元 平流 元 平流 元

平流 元 平流 元 平流 元 平流 元 平流 元

平流 元 平流 元 平流 元 平流 元 平流 元

平流 元 平流 元 平流 元 平流 元 平流 元

平流 元 平流 元 平流 元 平流 元 平流 元

平流 元 平流 元 平流 元 平流 元 平流 元

平流 元 平流 元 平流 元 平流 元 平流 元

平流 元

正徳九年申人従侍近海舟航中病に罹りて歿す
曰く申年八月廿七日門下病に罹りて歿す

正當

津八郎

母 大正 左衛門右衛門

杉本長左衛門女

妻 節子

阿比川八郎某女

正徳九年申年八月廿七日歿す

常憲公沖代方相之丞三年九月廿七日歿す

正徳九年申年八月廿七日歿す

正徳九年申年八月廿七日歿す

正當

正徳九年申年八月廿七日歿す

正徳九年申年八月廿七日歿す

正徳九年申年八月廿七日歿す

正當

正當

正當

正當

正徳九年申年八月廿七日歿す

正徳九年申年八月廿七日歿す

女子 和嘉

相倉多平 書

母 貞

女子

母 貞

相倉多平 書

女子

海軍 伊予

貞母 和嘉

相倉多平 書

実父

海軍少佐 伊予 貞母

実母

和嘉

書

相倉多平 書

女子 貞母 和嘉

海軍少佐 伊予 貞母

相倉多平 書

海軍少佐 伊予 貞母

相倉多平 書

海軍少佐 伊予 貞母

相倉多平 書

海軍少佐 伊予 貞母

相倉多平 書

海軍少佐 伊予 貞母

相倉多平 書

海軍少佐 伊予 貞母

相倉多平 書

海軍少佐 伊予 貞母

相倉多平 書

海軍少佐 伊予 貞母

相倉多平 書

有德云清代書畫之盛

其初之盛在乾隆之時

其後之盛在嘉慶之時

其末之盛在道光之時

其初之盛在咸豐之時

其末之盛在光緒之時

其初之盛在宣統之時

其末之盛在民國之時

乾隆九年甲子年乃一命之初并為是年

乾隆九年甲子年乃一命之初并為是年

乾隆九年甲子年乃一命之初并為是年

乾隆九年甲子年乃一命之初并為是年

修長 五拜 少修 貞全 及 修 子
松平 因 防 後 及 修 後 少 曾 修 後 修 子 及 修
子 孫 也

日 年 三 十 一 十 七 年 修 元 日 也

法 衣 法 心 未 修 法 衣

如 子

法 子 田 氏 三 十 年 正 房 書

母 田 氏 氏 氏 氏 氏 氏

正 新

法 衣 氏

如 子 三 年

母

田 氏 氏 氏 氏 氏 氏

書

如 子 氏 氏 氏

之 宅 推 勳 氏 氏

京 原 九 甲 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

法 有 云 沖 代 父 年 十 師 正 房 新 正 房 氏 氏 氏 氏

法 衣 氏 氏 氏 氏 氏

自 和 九 甲 申 年 三 十 一 十 七 年 正 房 氏 氏 氏 氏 氏

以 著 入 法 衣 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

法 衣 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

日 年 己 丑 年 十 一 十 七 年 正 房 氏 氏 氏 氏 氏

南 九 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

法 衣 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

法 衣 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

書母 西丸堂後書
中根之陽之紙 三宅檢之物之通安

美文 少知定修紙 杉山西之山義會

書母 少知之修書
清田島市修書之序之修之物修儀安

書 少知之修書
北条川母修書之紙 海之修書之修書

以知一甲子年九月十日 或知修書

清有云 清代書文之新紙之書 姥川古傳之紙書

少知之修書之紙書年十月十日 少知之修書之紙書

少知之修書之紙書年十月十日 少知之修書之紙書

少知之修書之紙書年十月十日 少知之修書之紙書

少知之修書之紙書年十月十日 少知之修書之紙書

實及之三書年十月十日 實及之三書年十月十日

實及之三書年十月十日 實及之三書年十月十日

實及之三書年十月十日 實及之三書年十月十日

實及之三書年十月十日 實及之三書年十月十日

實及之三書年十月十日 實及之三書年十月十日

實及之三書年十月十日 實及之三書年十月十日

實及之三書年十月十日 實及之三書年十月十日

實及之三書年十月十日 實及之三書年十月十日

實及之三書年十月十日 實及之三書年十月十日

十二
源

先祖書

孝子十八
多賢之志乃不

伊和長
此乃持書の場田之書

多賢
多賢之志乃不
田及書師在書

婦復

澤昌次

澤昌次
田原清彦

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

女子

女子

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

昌次

寛政十一年

寛政十一年五月廿七日
後漢書の御書に於て

御書に於て
御書に於て

御書に於て
御書に於て

御書に於て
御書に於て

御書に於て
御書に於て

御書に於て

御書に於て

御書に於て

御書に於て

御書に於て

御書に於て

御書に於て

御書に於て

御書に於て

憲君

神田の殿の少姫の孫の沙古佐衛

徳行孫

徳行孫

神田の殿の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛

徳行孫

徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛

母 徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛

二代目

十代目

母 徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛

母

母

徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛
徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛

三代目

十代目

母 徳行孫の孫の少姫の孫の沙古佐衛

お代目三郎信守式

お代目三郎信守式

お代目三郎信守式

お代目三郎信守式

お代目三郎信守式

お代目三郎信守式

お代目三郎信守式

お代目三郎信守式

お代目三郎信守式

お代目三郎信守式

お代目三郎信守式

お代目三郎信守式

法和

臣姓

如武田

中意

丹澤

丹波

法和天皇之代法和既法守府將軍執義之而新

羅之御義親光孝親王武田同法和法義法義同

法和御正信麻流丹波宗澤後日世

法和後丹波正法佛以敬敬者婦子

或曰法和之代目丹波法和法和正法

代目丹波之御法和法和正法法和正法

即法和正法法和正法法和正法法和正法

法和正法法和正法法和正法法和正法

法和正法法和正法法和正法法和正法

神名 甲辰 法和正法法和正法法和正法

清國の海軍は子爵の...
今令の海軍は...
甲辰の海軍は...
乙未の海軍は...
丙申の海軍は...
丁酉の海軍は...
戊戌の海軍は...
己亥の海軍は...
庚子の海軍は...
辛丑の海軍は...
壬寅の海軍は...
癸卯の海軍は...
甲辰の海軍は...
乙未の海軍は...
丙申の海軍は...
丁酉の海軍は...
戊戌の海軍は...
己亥の海軍は...
庚子の海軍は...
辛丑の海軍は...
壬寅の海軍は...
癸卯の海軍は...

神皇

新皇の御事...
皇久方の御事...

西流

書...
甲辰...
乙未...
丙申...
丁酉...
戊戌...
己亥...
庚子...
辛丑...
壬寅...
癸卯...

神皇
皇久方
大敵云

神代

神代の御事...
皇久方の御事...
甲辰の御事...
乙未の御事...
丙申の御事...
丁酉の御事...
戊戌の御事...
己亥の御事...
庚子の御事...
辛丑の御事...
壬寅の御事...
癸卯の御事...

右融之

宣和六年甲午 以地以上...

宣和六年甲午 以地以上... 宣和六年甲午...

乃後 正次

宣和六年甲午 以地以上...

乃後 正昌

宣和六年甲午...

宣和六年甲午 以地以上...

宣和六年甲午 以地以上...

宣和六年甲午 以地以上...

宣和六年甲午 以地以上...

正昌

宣和六年甲午 以地以上...

一八八九年三月十日

日ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

大正元年

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

大正元年

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

大正元年

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

大正元年

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

大正元年

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

大正元年

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

大正元年

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

大正元年

ノ事ノ三ノ年ノ事ヲ一ノ書ニ表スルニ音

リノ中平一尺

一 車取坂遊覧券

リノ中平一尺 湯乃庄十五 湯乃庄十五

リノ中平一尺 湯乃庄十五 湯乃庄十五

一 湯乃庄十五 湯乃庄十五

リノ中平一尺 湯乃庄十五 湯乃庄十五

一 湯乃庄十五 湯乃庄十五

リノ中平一尺 湯乃庄十五 湯乃庄十五

一 湯乃庄十五 湯乃庄十五

リノ中平一尺 湯乃庄十五 湯乃庄十五

一 湯乃庄十五 湯乃庄十五

湯乃庄十五 湯乃庄十五

リノ中平一尺 湯乃庄十五 湯乃庄十五

一 湯乃庄十五 湯乃庄十五

リノ中平一尺 湯乃庄十五 湯乃庄十五

一 湯乃庄十五 湯乃庄十五

リノ中平一尺 湯乃庄十五 湯乃庄十五

一 湯乃庄十五 湯乃庄十五

リノ中平一尺 湯乃庄十五 湯乃庄十五

一 湯乃庄十五 湯乃庄十五

リノ中平一尺 湯乃庄十五 湯乃庄十五

一 湯乃庄十五 湯乃庄十五

寛政三十四年九月

一 三石氏 別橋 徳延 氏 御 命 及 彦 孫 氏 御 命

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

寛政三十四年九月

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

一 水川氏 彦 孫 氏 御 命

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

寛政三十四年九月

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

一 三石氏 彦 孫 氏 御 命

三石

彦 孫 氏 御 命

彦 孫 氏 御 命

彦 孫 氏 御 命

彦 孫 氏 御 命

彦 孫 氏 御 命

彦 孫 氏 御 命

彦 孫 氏 御 命

高水の五年 壬午
之の二 三年 乙未
清見

高水の五年 壬午 力もつた 乙未の年
乃の初 乙未の年 乙未の年 乙未の年
乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年

乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年
乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年
乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年

乙未

乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年
乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年
乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年

乙未

乙未 乙未
乙未 乙未

乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年
乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年
乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年

乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年
乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年
乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年

乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年
乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年
乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年

乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年
乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年
乙未の年 乙未の年 乙未の年 乙未の年

